

教科目名 独語 II (German II)

学科名・学年 : 全学科 5年

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教員 : 峯本敏男

授業の概要			
4年次で修得した初級ドイツ語の基礎を固め, 中級ドイツ語に到達できるための総合力の養成を目標とする. そのため, 初級独作文の練習や会話テキストにより基本的な構文力および表現力を高めながら, コミュニケーションとしてのドイツ語能力を養成する. 同時に, 幅広い異文化理解によって, 外国人や外国に対する知識や国際理解をも深める.			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1), JABEE 目標(f)	
(1) ドイツ語が正確に発音できる. (定期試験と口頭試問)			
(2) ドイツ語文法の基礎を修得し, 初級会話ができる. (定期試験と演習)			
(3) 独和辞典を使用して平易なドイツ語が読み書きできる. (定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. 分離動詞	○分離動詞の基本構文が理解できる.	【理解の度合い】
2	2. 分離動詞	○分離動詞の用法が理解できる.	
3	3. 再帰動詞	○再帰動詞の基本構文を学ぶ.	
4	4. 再帰動詞	○再帰動詞の用法を理解し練習する.	
5	5. 接続詞	○接続詞の基本用法が理解できる.	
6	6. 従属接続詞と副文	○従属接続詞の用法と副文を理解する.	
7	7. ZU 不定詞	○不定詞構文と基本的用法を理解する.	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○分からなかった部分を理解し, 基本を再確認する.	【理解の度合い】
10	8. 関係代名詞	○関係代名詞の基本用法を学ぶ.	
11	9. 関係代名詞	○関係文の構造と用法に習熟する.	
12	10. 受動態	○受動の基本構文を学び理解できる.	
13	11. 受動態	○受動の意味と用法を学び理解できる	
14	これまでの復習		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16	12. 接続法	○接続法の形態と意味が理解できる.	【理解の度合い】
17	13. 接続法	○非現実話法の基本構文と用法を学ぶ.	
18	14. 接続法	○外交話法の意味と用法に習熟する.	
19	15. 接続法	○間接話法の意味と用法に習熟する.	
20	16. 基本独作文	○文法復習, 基本語彙の練習をする.	
21	17. 基本独作文	○ドイツ語日常表現の作文ができる.	
22	これまでの復習		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	○分からなかった部分を確認, 再度, 理解する.	【理解の度合い】
25	18. ドイツ語講読	○講読演習により読解力を養成する.	
26	19. ドイツ語講読	○講読演習により読解力を養成する.	
27	20. 文章作成演習	○自由作文演習により文章力を養成する.	
28	21. 文章作成演習	○自由作文演習により文章力を養成する.	
29	22. 総合表現演習	○自由テーマによる2分間スピーチの口頭発表ができる.	
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	週の授業時間数が少なく内容が4年次よりも高いため, 自発的な学習が必要であり, 授業に集中し, 発話練習にも積極的に参加することが重要である. また, 独和辞典や参考書も活用し, 定期試験だけでなく課題やレポート等にも真剣に取り組むことが肝要である.		【総合達成度】
教科書	4年次の教科書を継続使用する. その他, プリント等.		
参考図書			
関連科目	独語 I		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について4回の試験と課題で評価する. 総合評価=0.8×(4回の定期試験の平均)+0.2×(課題点数)―(欠席, 授業態度) 最終的に総合評価が60点以上を合格とする.		
			【総合評価】 点